

第470回今別町議会定例会会議録（第2号）

第3日（12月1日）

出席議員 7名

1番	本間 闘士 君	2番	太田 英一 君
3番	田中 哲也 君	4番	小倉 潤二 君
5番	成田 精市 君	6番	本郷 良克 君
7番	福士 和比古 君		

欠席議員 なし

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町 長	中嶋 久彰 君
教 育 長	勝野 義彦 君
会計管理 者	
税務会計 課長	川村 一樹 君
参 事	岩 渕 健 君
総務企画 課長	太田 和泉 君
町民福祉 課長	山崎 真直 君
産業建設 課長	平山 寛哉 君
教 育 課 長	佐渡 慶剛 君
総務企画 課長補佐	遠田 剛洋 君
総務企画 課長補佐	阿部 真紀子 君
総務企画 課長補佐	相内 譲 君
産業建設 課長補佐	田中 譲 君
産業建設 課長補佐	阿部 聖 君
代表監査 委員	田中 裕文 君

職務のため議場に参加した事務局職員の職氏名

事 務 局 長
事 務 補 助 員

相 内 一 君
平 山 良 子 君

議事日程

- 第 1 会期の決定
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 議案の一括上程（提案理由の説明）
- 第 4 一般質問

午前10時00分 開会

○議長（本郷良克君） おはようございます。

本会議に入る前に、傍聴される方に連絡事項があります。

傍聴人は次のことをお守りください。私語など会議の妨害になることは謹んでください。写真撮影、音声の録音はしないでください。携帯電話の電源はお切りください。その他、会議の妨害になるような行為をした場合は、今別町議会傍聴人規則第11条の規定により退場を命ずることがありますのでご了承願います。

これで連絡事項を終わります。

日程第1 一般質問

○議長（本郷良克君） 日程に従いまして、一般質問に入ります。

それから、初日に会期を2日までと言いましたが、3日までですので訂正いたします。

通告の受付順に質問を許します。

通告及び答弁は、できる限り簡潔明瞭に願います。

なお、質問については、同一議題について質問回数の制限をなくし、本人の持ち時間を2時間以内としております。また、関連質問並びに通告以外の質問は認めませんので、ご了承願います。

5番成田精市議員に質問を許します。成田議員。

○5番（成田精市君） おはようございます。

質問に入る前に、初めに、コロナウイルス禍によりお亡くなりになられた方々にご冥福を述べるとともに、いまだにご回復なされていない方々にも一刻も早く回復なさることをお祈り申し上げます。

それでは、通告に入ります。

1として、財政計画と公共施設の維持管理についてであります。

現在の財政についての状況を伺いたい。

新規採択あるいは拡充したい理由があるのか、お伺いしたい。

縮小もしくは廃止したい事業はあるのか、お伺いしたい。

2として、子育てしやすい環境づくりについてであります。

今別校舎が閉校となることで、町外の高校進学となり保護者の教育負担が増えると予想されます。町長並びに教育長はどのような援助をすれば軽減されるか。また、

来年度からでも新たな援助計画をしていく考えはあるのか、お伺いしたい。

2として、教育環境の整備、子育て支援の充実、定住の促進事業等は現在どこまで進んでいるか、お伺いしたい。

3として、住みやすい、住んでよかったまちを目指すための事業をどこまで行なっているのか。また、将来的にどのようにしたいのか、構想をお持ちであればお伺いしたい。

以上、2問であります。

○議長（本郷良克君） 成田議員、財政計画等のところの新規採用、2番目のポツ2の新規採用、3つ目の縮小、それは議運で質問しないということで了承していましたが、どうですか。

○5番（成田精市君） 分かりました。

○議長（本郷良克君） 削除でいいです。そういうことで、議運委員会で削除するということでも了承してありましたよね。

○5番（成田精市君） それでは、現在の財政状況についてはよろしいでしょうか。

○議長（本郷良克君） それは議運でこの前ちゃんと説明して、成田議員も了承して議運を閉じていましたので、皆さん、そういう認識でいます。

○5番（成田精市君） すみませんでした。じゃあ、私の勘違いでありました。じゃあ、1番は……。

○議長（本郷良克君） 質問のポツ1はそのまま結構ですよ、質問の内容として。2番、3番がやらないということで了承しました。

○5番（成田精市君） 分かりました。

それでは、1の現在の財政についての状況をお伺いしたい。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 改めまして、おはようございます。

5 番成田精市議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは大きく2点のご質問が出ております。1として、財政計画と公共施設の維持管理についてということで現在の財政状況について伺いたい、質問2として、子育てしやすいまち、環境づくりについてということで、今別校舎閉校に伴い町外進学に対しての新たな援助計画はあるのか、教育環境の整備に子育て支援の充実、定住の促進事業等はどこまで進んでいるのかというご質問ですが、私からは現在の財政状況について答弁させていただきます。他の質問に対しては、担当課より答弁させていただきますので

よろしくお願いいたします。

現在の財政状況について伺いたいということですが、昨年度の12月補正後の予算は、新型コロナウイルス感染症拡大対策に係る国からの支援事業や地方創生臨時交付金事業による一般会計では約35億円の予算規模と大きくなりましたが、今年度については約34億円の予算で、令和元年度と同等な予算規模となっております。

また、今別町の町税収入をはじめとする歳入の見通し、各種計画と連携した歳出の見通しを中長期的な観点から示し、計画的な財政運営を実施するため、今別町中長期計画を策定しております。令和2年度決算を反映させた計画について、現在策定中ですので、でき次第、議員の皆様にご説明申し上げます。

また、公共施設の維持管理についてですが、現在、町では公共施設等総合管理計画と個別施設計画を策定しており、計画に沿って施設の維持管理に努めておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

5番成田精市議員の質問の2、要旨の1についてお答えします。

現在、町では高校生の青森市などへの通学に対し、新幹線をはじめ津軽線などの在来線の利用者に定期券の約半額を助成する制度があります。さらに、教育委員会では高校、大学並びに専門学校の生徒に対し、奨学金制度をご利用いただいております。

ご質問の新たな援助計画をしていく考えはあるかとのことですが、今のところ、現状の制度を継続し、様々な意見も取り入れながら、新たな援助制度が必要となれば検討してまいります。

引き続き、質問の2、要旨の2のうち、教育委員会が関係する部分についてお答えいたします。

教育環境の整備が現在どこまで進んでいるかについて、小学校は、議員の皆様のご助言をいただきながら来年の3月で閉校する今別校舎を利活用する方向で計画を進めております。中学校については、平成5年に建築し28年が経過しておりますが、昨年度実施した校舎の長寿命計画に基づき、改修などを行いながら使用していく予定であります。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） おはようございます。よろしくお願いいたします。

5番成田精市議員の質問の2、要旨の2、子育て支援の充実についてお答えいたしま

す。

子育て支援の充実が現在どこまで進んでいるかについて、これまで議員の皆様から何度か質問されておりますが、子育て支援につきましては、出産祝金の支給、新生児誕生記念品の贈呈、乳児のおむつ購入費用の助成を令和元年度から実施しております。また、町独自の保育料の完全無償化と副食費の無償化も併せて行い、医療費につきましても、高校生世代まで無料とし、そのほか産婦健診の費用の助成などを行い、子育て支援の充実を図っております。

町では、これからも安心して子育てができる環境づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） おはようございます。総務企画の太田です。

それでは、5番成田議員からのご質問、子育てしやすいまち、環境づくりについての要旨の2の定住の促進事業は現在どこまで進んでいるのかについて答弁いたします。

青森北高等学校今別校舎の閉校に伴い進学先が町外になることから、これまで以上の人口流出が懸念されるところでございます。

当町においては、現在、定住支援といたしまして、先ほどもご説明ありましたが、通勤、通学に対する助成事業や住宅取得等支援事業、家賃支援事業を実施し、人口減少の抑制に取り組んでいるところでございます。今後も議員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

次に、要旨の3といたしまして、住みやすい、住んでよかったまちを目指すための事業がどこまでいっているのか、また将来的にどのようにしたいのかについて答弁いたします。

成田議員もご存じのことと思いますが、現在、町では将来にわたり持続可能で町民の皆様が安心して暮らせるまちづくりの指針となる第5次今別町総合計画の後期計画に取り組んでいるところでございます。平成28年度から令和2年度までの前期計画の事業実施状況は、42事業の計画中、33事業が実施されたところでございます。後期計画でも目指すべき将来像を「みんな活き活き健康長寿奥津軽いまべつタウン」とし、3つのまちづくりの基本理念、「産業を振興し、将来を担うひとを育み、安心して暮らせるまち」「地域資源を活かし、交流促進でにぎわいを創出するまち」「みんな活き活き、お年寄りと子供にやさしいまち」を掲げ、将来にわたり持続可能なまちづくりに取り組んでい

ますので、今後も議員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） 1番の財政計画と公共施設の維持管理について、現在の財政についての状況ということで伺いました。令和2年度の歳入歳出差額を見ますと1億6,000万円ほど予算がありましたが、今年3年度も3分の2を過ぎた段階ではありますが、見通しとしてはどのようにお考えでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 先ほども町長からご説明ありましたが、昨年度はコロナの感染に対する事業やあと臨時地方創生交付金などがありましたので、事業のほうが大きくなっております。

今年度に関しては、今議員からもありましたけれども、3分の2経過しました。今後は、事業の精査、見直しをかけて見込みの調整に入りますので、事業規模としてはさほど変わらないものと見込んでいるところでございます。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） このコロナ禍の中で、今別町の財政状況は去年並みに推移しているということで理解いたしました。

それでは、2の子育てやすいまち、環境づくりについて伺います。

青森北高の今別校舎が閉校となる中で、お子さんをお持ちの方、これから高校に進める中で財政的に裕福な方ばかりとは言えません。その中で、高校に進学させたいとなれば、先ほど通学等、奨学金、いろいろな援助が今までどおりということでありましたが、私はもう少し援助額を増やしてほしいと思う1人であります。

また、2として教育環境の整備、子育て支援の充実等に質問しておりますけれども…。

○議長（本郷良克君） 成田議員、簡潔に行ってください。ポツ1のほうはいいんですか、質問。

○5番（成田精市君） じゃあ、1で取りあえず、さらなる援助をしていく方針は今後あるのか、伺います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 要旨の1の援助の関係で、先ほど通勤・通学助成についてご説明したところで、成田議員からはもう少し援助できないかということでしたけれ

ども、当初、新幹線が開業したときは3分の1の助成でした。それを今別校舎の閉校等があるということでしたので、今は2分の1、まず半分の助成をしているところでございますので、引き続き続けていきたい考えであります。

ただ、閉校して通勤、通学の利用者が増えるのであれば、これまた検討していかなければならないと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 成田議員。

○5番（成田精市君） それでは、2の2です。教育環境の整備、子育て支援の充実、定住の促進事業等は現在どこまで進んでいるかということで、子供の安全を第一に考え、地域全体で子育て支援できる体制を整え、子供を産める、育てるよりよい環境づくりに推進してほしいと思うので、この質問をいたしました。

これはこれで、3のほうに移ります。

すみやすい、住んでよかったまちを目指すための事業をどこまで行っているか、また将来的にどのようにしたいのか構想をお持ち……。町長の所信表明の中でこの回答も得ていましたので、深い突っ込みはないです。

それから、これから10年先、20年先の方向性、決断しなければならない将来の今別の構想の中に、子供たちのため、お年寄りのため、安心できる今別町を進めていきたいという思いを町長にお伝えして、私の答弁を終わります。

○議長（本郷良克君） 5番成田議員の質問を終わります。

1番本間闘士議員に質問を許します。

○1番（本間闘士君） 1番本間闘士です。議長にお許しをいただきましたので、通告に従いまして私から大きく3点質問いたします。

まず、インフルエンザワクチンの接種状況についてであります。

時期柄、インフルエンザが流行しやすい季節になりましたが、今年はインフルエンザワクチンの生産数が昨年に比べて少ないという声を耳にしました。厚生労働省のホームページに記載されている2021年、22年シーズンのインフルエンザワクチンの供給量の見込みによりますと、昨年はワクチンの製造効率が非常によく多くの供給ができたとのことですが、今年も例年同様の生産数は維持できる見込みとの通達が出ているものの、実際にワクチンの接種が開始された今、当町でのワクチンの需要に対し供給は間に合っているのかという懸念があります。そこで1つ目の質問です。インフルエンザワクチンの接種状況について伺います。

次に、職員の採用についてであります。

当町における職員の採用は、行政業務の要となる部分であり、退職見込者等を勘案しながら計画的に進めるべき事項であるのは、皆様もご存じのとおりであります。行政職の採用は、一般的に4月から採用されるのが通例であると認識しておりますが、このたび、11月1日より新たな職員を採用されたのはあまり類を見ない事例であると思います。本来、年度の途中で職員を採用する場合、緊急性のある事態が起こった場合などが想定されます。今回、11月1日付で職員を採用した背景にはどのような理由や意図があって採用されたのか、公平、公正性を示す上で答弁をいただきたいと思います。

また、今年度の職員採用試験は、今別町ホームページに掲載されている行政情報によると、初級が令和3年9月19日に1次試験が行われ、2次試験が11月下旬となっており、上級、中級に関しては、一般行政職の1次試験は令和3年7月11日、2次試験は9月下旬となっており、いずれの試験も採用予定は令和4年4月1日となっております。このことから、今回採用された職員に関しては今年度採用試験を受けた方ではないことが予想されますが、それでは、いつ採用試験を受け、どのような経緯で採用されたのかという疑問を抱きます。そこで2つ目の質問として、今回採用された職員はどのような経緯で採用されたのか、説明を伺います。

3つ目、今別町の小学校、中学校の今後についてです。

当町には小学校が1校、中学校が1校あります。人口の減少に伴い、生徒数も年々減少傾向にあり、単式、複式の混合によるクラス編成や少人数ならではの苦労もあるかと思えます。今後、5年後、10年後の将来を想像しますと、小学校、中学校は今と同じような形で維持できればよいほうで、より人数も少なく寂しい現実直面する可能性が高いかと思われます。そのような現状の中において、これからの今別小学校、今別中学校の在り方をどのように捉えているのか伺います。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 1番本間副議長議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは大きく3点の質問が出されております。

1としてインフルエンザワクチンについて、2として職員の採用について、3として今別町の小学校、中学校の今後についてというご質問でございますが、職員採用については、人事権自体、自治体の行政職にあるものでありまして、議会の本会議において聞かれるべき事案ではないものと思います。聞きたいのであれば、役場に来庁された際に

でも聞いてもらえればと思いますが、一応お答えをいたします。

今後は、議運並びに議長、事務方のほうで来庁した際に聞ける事業、事案等については判断していただきたく、よろしくお願いいたします。

それでは、担当課より答弁させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） よろしくお願いいたします。

1 番本間闘士議員の質問 1、インフルエンザワクチンの接種状況についてお答えいたします。

今年度のインフルエンザ予防接種につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行による医療体制の逼迫を防ぐ目的で、前年度に引き続き全町民を対象に自己負担額を全額助成しております。

ワクチンの接種状況につきましては、医療機関により開始時期が異なりますが、現在はそれぞれの医療機関で接種を開始しております。また、例年、高齢者の接種期間を12月下旬としていますが、今年度はワクチンの入荷が段階的となっているため、1月以降も接種できる体制を構築し、今後も感染症の感染拡大防止に取り組んでいきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 質問 2、職員の採用について、1 番本間議員からのご質問の中で、11月 1 日付で職員を採用しているのはどのような理由で採用したのか、また今回採用された職員はどのような経緯で採用されたのかについて答弁させていただきます。

今回の採用理由は、議員もご存じのことと思いますが、政府が看板政策に挙げております 9 月 1 日にデジタル庁が設置されたことにより、当町においても行政のデジタル化を推進するため、デジタル化推進準備室を10月 1 日付で総務企画課に設置したものであります。それに伴う職員を配置するに当たり、今回採用したものでございます。

次に、採用の経緯ですが、中途採用についてのご質問はこれまでもあり、同じような答弁となりますが、今回採用した職員は、令和 3 年度職員採用試験の受験者で採用に至らなかった受験者の中から補欠合格としていた者でございます。先ほどご説明いたしましたデジタル化推進準備室の設置により、職員配置と事務分担の見直しが必要となり、

地方公務員の職員採用は各自治体により採用条件を決められることから、11月1日付で補欠合格者を採用したものでありますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（勝野義彦君） おはようございます。

1 番本間闘士議員の質問の今別小学校、中学校の今後についてお答えいたします。

現在、小学校の児童数は32名、教職員数が13名となっております。通常学級は1学年の単式と2、3学年の複式、4、5学年の複式、6学年の単式の4学級編成となっております。また、今年度の卒業予定者は5名、新年度の入学児童は外ヶ浜町三厩から区域外就学の1名を加えて9名が入学予定となっております。

次に、中学校の生徒数は小学校と同じ32名で、教職員数が13名となっております。現在は1学年1クラスで3学級編成となっておりますが、令和5年度には現在小学校の5年生に在籍している児童2名が中学校に入学した場合、1、2学年が複式学級となり、2学級編成となることが見込まれております。

これにより教職員数も現在の約半分になるなど、学習面において教科指導等にも影響を及ぼすことが懸念されることから、学力の低下とならないよう、教科指導等充実に係る非常勤講師やスクールサポーターを配置するなどの対策を講じてまいりたいと考えております。

教育委員会といたしましては、今後とも児童生徒が望ましい教育環境の下、勉学に取り組むことができる環境づくりに努めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1 番（本間闘士君） それでは、インフルエンザワクチンの接種状況について答弁いただきましたので、まずそちらのほうから質問させていただきます。

課長のほうから報告がありましたインフルエンザワクチンは、任意のワクチン接種であります。接種することで罹患を必ず防げるわけではございませんが、インフルエンザの重症化を高い確率で防ぐ効果が認められております。我が町では高齢の方も多いため、町民の皆様にはインフルエンザが流行する前に、コロナとダブルで同時流行する前に、できるだけ多くの方に接種していただきたいと思います。

その中において、昨年から実施されております費用の無償化というのを今別町でやっておりますけれども、これは非常にいい取組だと私は認識しております。というのも、

接種率が向上する可能性がありまして、できるだけ多くの町民の形に受けていただき、感染が流行する前になるべく防ぐ手だてをするというのは非常によいことだと思いますが、先ほど課長の答弁の中に、生産数が少ないがために供給が遅れるというお話がありました。供給が遅れると、期限を12月末までやっているやつを1月31日までの期限にするというお話がありましたが、ワクチンの供給状況等を踏まえながら、さらに柔軟に対応することも必要ではないかと考えますが、当町の考えを伺います。

○議長（本郷良克君） 山崎課長。

○町民福祉課長（山崎真直君） 先ほどもお答えさせていただきましたけれども、今年度はワクチンが段階的に入荷されるため、今後12月中旬にかけて医療機関へワクチンが供給される予定となっております。また、1月以降もワクチンの供給が継続される可能性もあるということで、町では1月以降も接種できる体制を取っております。

先ほど質問で、接種期間につきましては今のところ予定どおり1月末までにしたいと考えておりますが、今後、国からの通達等があれば、医療機関と協議しながら柔軟に対応していきたいと考えております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 分かりました。インフルエンザワクチンの供給に関しては、行政でどうのこうのできる問題でもありませんし、生産数が上がらなければ当然供給も見込めませんので、そこは国の通達を追いながら順次、柔軟に対応していただければと思います。

次に、職員の採用についてであります。

総務課長のほうから答弁をいただきましたが、答弁の中に登場する補欠合格について説明をいただきたいと思います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 答弁の前に、先ほど私のほうが職員の採用試験について「令和3年度」と言いましたけれども、「令和2年度」に実施した職員採用試験になりますので、訂正お願いいたします。

先ほどもちょっとご説明いたしましたけれども、補欠合格なんですけれども、採用に至らなかった職員の方に対して補欠合格ということで通知して、先ほど本間議員からもありましたけれども、今別町で必要なときは採用させていただく旨の文書を出しているところがございます。そういった経緯で補欠合格を通知しているところがございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 補欠合格について説明ありがとうございます。補欠合格の期限、期間というのは定められているものでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 期限ですけれども、令和4年3月31日までとなっております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 補欠合格の期限が令和4年3月31日とありますが、これは単年度、単年度で期限が違うんでしょうか。それとも、毎年、ある程度一定の期間の期限で設けているものでしょうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 単年度、その年度、年度で期限を設けております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 今回、採用された職員を採用するに当たって、行政のほうでも採用にある程度計画性を用いていると思いますが、職員の採用できる人数には定数が定められていると認識しておりますが、現在の職員数は何人なのか、今回の採用は配置人数基準内であるか、確認いたします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 現在の定数ですけれども、65名になっております。現在の職員人数は59名となっております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） ありがとうございます。65名の定員に対して59名現在採用されているということで、その採用に当たっては分かりました。

デジタル庁推進室を設置して業務を行うということですが、具体的な業務内容等がお示しできるものがあればお聞きしたいと思います。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 9月1日にデジタル庁が発足されて、町のほうには今デジタル関係の文書等いろいろ入ってきております。特段、こういった事業とかはまだないんですけれども、町のほうでは町長の政策にもあります高齢者の見守りに係るデジタル化の推進とありますので、そういった形で、本間議員が見られたかどうかはあれなん

けれども、NHKのほうでもそういった事業の取組があつて、ベンチャー企業なんですから、そういったところでできればデジタル推進準備室の職員が出向いて、いろいろそういう情報収集とか町に役立つものとか、あと企業さんのほうにもいい事業とかあれば打合せ等、今後進めていきたいということで今現在進めているところでございます。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） デジタル化の推進に関しては、これからスタンダードな取組になっていくでありましょうから必要なことだとは思いますが。行政の中において、人件費等も含めながら最小で最大の効率を上げるという理にもかなっておりますので、デジタル化、ICT化を進める上ではそういう職員の教育も必要かとは思いますが。

ただ、職員を採用される時期に関しては、これは私の考えではございますが、時期的なものもありまして町民の中によからぬうわさが流れてしまう実態もあります。その勘違いされて困る、改めて理由を聞きますと正式な理由があつて採用されたということですので、そういううわさが流布しないように採用時期等に関してはある程度勘案していただきたいと思いますと思いますが……。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） ただいまのご進言ですけれども、議会が関与する事案ではないと思います。自治体に任せられているということを先ほど総務課長が申し上げましたので、その点をご理解願いたいと思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 確かに、議会は行政の人事権に介入する権利はございません。ただし、現状を踏まえますと、そういううわさが流れているのも事実でございます。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 恐れ入ります。うわさ話で、議会で、本会議で発言するのはいかなものかと思います。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） それを危惧しているからこそ、ここで一般質問しているのであります。その辺も勘案していただきながら、採用時期には緊急性がない場合等を踏まえながら、例年どおりに執行できるものであれば執行していただきたいと思います。私は考えます。

でも、答弁を求めているわけではありませぬので、職員の採用に関しての一般質問はこれで終わりたいと思います。

次に、3つ目、小学校、中学校の今後の在り方についてです。

教育長のほうから答弁をいただきました。人数が少なく推移していく、年度も踏まえながら令和5年には単式学級が生まれるということであります。生徒数が少なくなれば、職員の数も減り教育環境が充実できないのかなというやっぱり不安を抱える親御さんもいらっしゃると思います。

今現在、当町が取り組んでいるGIGAスクール、生徒一人一人にタブレット端末やパソコンを配付して授業を行っている取組でございますけれども、これまでの学習環境とがらりと変わり、インターネットを利用して動画や授業を行うのがスタンダードなスタイルとなりつつある中で、当町が行っている取組に関しては非常にすぐれたメリットがあるとお伺いしております。

そこで、実際にタブレット端末等を利用している生徒の反応等はどうか、伺いたいと思います。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） GIGAスクールについては事務方のほうの担当になりますので、私のほうから説明したいと思います。

現在、GIGAスクールについて小中学校で授業しております。ただ、まだまだ始まったばかりの授業でありまして、これからいろいろやっていきながら、周りの町村の動向とかそういうものを見極めながらどんどんどんどんいい方向で活用していきたいと考えているところです。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 課長答弁、ありがとうございます。

他の自治体ではタブレット端末を家庭に持ち帰り利用する取組も見られているようなんですけども、機器の管理方法やインターネット環境の有無等もあり、なかなか難しい側面もあると伺っております。当町では、家庭に持ち帰って利用する取組に関してはどのような対応をされているか伺います。

○議長（本郷良克君） 佐渡課長。

○教育課長（佐渡慶剛君） 現在のところは、タブレット等を自宅に持ち帰っているという状況はありません。いずれはそういう方向も考えながら、家庭に持って行ってそういうGIGAスクールの授業みたいな、あるいは宿題をしてくるとかそういう使い方も今後出てくるのかなと思っております。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） ありがとうございます。

GIGAスクールがスタンダードな学習方法になっていくと思われる中で、非常にすぐれたメリットがあると思っておりますので、一度、議会のほうでも協議しながら見に行けたらなと思っております。これは私の判断ですので、この後、議会のほうでも話し合う機会があれば、それをお話ししたいと思います。

将来的に生徒数が減少していくという今別小学校、中学校の現状を踏まえながら、将来的な生徒数の減少を踏まえた上で、他市町村との意見交換などの取組は行なっているか伺います。

○議長（本郷良克君） 教育長。

○教育長（勝野義彦君） 再質問にお答えします。

他市町村との意見交換というか協議等は現在行なってございません。以上です。

○議長（本郷良克君） 本間議員。

○1番（本間闘士君） 実際のところ、今現在、生徒数の減少を不安視する声も少なくありません。現段階ではありませんけれども、これから取組を行っていく可能性もありますので、そこをご勘案いただけたらと思います。

いろいろ目に見えない部分で大変なところもあると思いますので、一番に子供たちのことを考えて行動していただきたいと私は思います。

また、教育委員会と情報共有の部分において、もう少し共有できたらなというところが私も感じておりますので、それを最後にお伝えして、私の質問を終わりたいと思います。

以上です。ありがとうございました。

○議長（本郷良克君） 1番本間議員の質問を終わります。

3番田中哲也議員の質問を許します。田中議員。

○3番（田中哲也君） 3番田中哲也です。よろしくお願いいたします。

私は、質問事項として4つありますので答弁のほうをよろしくお願いいたします。

まず1つ目は、除雪ステーションについてです。当初計画した場所より左側、中央寄りに移動したように見受けられるが、その点について伺いたいと思います。

2つ目は、町営スキー場、体験交流センター、眺海の森ウッドパークについてであります。

以前も、僕だけじゃなくて他の議員もこれについては触れていると思うんですけども、町営スキー場について原状回復して返還するのか、今後も今までどおりゴルフ練習場として活用していくのか、伺いたいと思います。

2つ目に、体験交流センターはどのように活用されているのか、またパターゴルフ場などどのように活用されているのか、伺いたいと思います。

3つ目に、眺海の森ウッドパーク、ログハウスの売却はどのようになっているのか伺いたいと思います。

質問事項3つ目として、公共工事について。公共工事を施工したときに工事案内標識が設置されていない工事があるように聞いていますが、どのような指導をしているのか伺いたいと思います。

4つ目、町営バス人事について。運転手の採用人数は適正であるのか伺いたいと思います。

以上、よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） 3番田中哲也議員のご質問にお答えをいたします。

議員からは、大きく4点の質問が出されております。1として除雪ステーションについて、2として町営スキー場、体験交流センター、眺海の森ウッドパークについて、3として公共工事について、4として町営バス人事についてという質問ですが、担当課より答弁させていただきますが、質問1のように憶測でする質問については、来庁した際に担当課の職員に聞いていただければご理解いただけるものと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、担当課より答弁させますのでよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） よろしくお願いします。

3番田中哲也議員の質問1、まず除雪ステーションについて答弁いたします。

現在、建設中の除雪ステーションについては、今年4月22日に議員の皆様へご説明申し上げました事業内容のとおり、現在施工しております。また、建設位置についても当初計画どおりの場所へ建設しております。

続きまして、質問2の町営スキー場、体験交流センター、眺海の森ウッドパークについて、要旨の1番目、原状回復して返還する、またはゴルフ練習場についての活用とい

うことで答弁いたします。

以前にも質問がありました町営スキー場につきましては、現在も大きな問題として認識しております。町としては、土地を返還することを大原則としておりますが、返還条件として原状復旧させる必要があるため、建物を含む設備の撤去及び植栽などに多額の費用が見込まれるなど、現在も返還することができずに現在に至っております。返還する場合には多額の予算が必要となるため、用地購入も視野に入れながら今後も青森森林管理署などと協議を進めていきたいと考えております。

また、ゴルフ練習場につきましては、現在も利用されている方がいるため、引き続き活用していきたいと考えておりますのでご理解をお願いいたします。

次に、質問２の要旨２、体験交流センターの活用またはパターゴルフ場の活用についてですが、答弁いたします。

現在、体験交流センター周辺施設を閉鎖及び休館していることから、職員の常駐などは行なっていません。パターゴルフ場については、数年前までは交流センター入口にパターセットを設置し利用者が自由に利用できるよう開放しておりましたが、各コースの劣化などが進んでいるなど、現在は施設を閉鎖しております。しかし、体験交流センターなどは町の指定避難場所として指定されていることから、施設及び周辺の維持管理を行っておりますので、ご理解をお願いいたします。

続いて、質問２の要旨３、ログハウスの売却について答弁いたします。

ケビンハウスは、建設から25年以上が経過し部分的に老朽化が進み、建設場所が森林地であることから長年宿泊者より害虫被害による苦情が絶えない状況にありました。施設の維持修繕を検討いたしましたが、多額の費用が見込まれることから、昨年度に全７棟の売却について町ホームページや毎戸チラシで公募をいたしました。しかし、希望者はありませんでした。今年度も７月に公募いたしましたが、現時点で希望者がいない状況です。今後は、施設の解体も含め検討してまいりますので、ご理解をお願いします。

次に、質問３、公共事業について答弁いたします。

公共工事を行う場合は、周辺住民や道路利用者に対して工事に関する情報提供、工事周知や注意喚起を促し、理解と協力、安全対策の徹底を図っております。また、工事発注時に登記仕様書などへ記載して工事内容などを表示するよう指導しておりますので、ご理解をお願いします。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 3 番田中議員からのご質問 4、町営バス人事について、運転手の採用人数は適正であるかについて答弁いたします。

田中議員からは、これまでも町内バス運転手についてご質問いただいております。その当時は嘱託職員、現在の会計年度任用職員が 8 名と職員 1 名の 9 人体制でしたが、それまでの現状を勘案して昨年度より 1 名増員し、現在は 10 人体制でバス運行しているところでございます。

新型コロナウイルス感染症の影響のないときでも 9 人体制で対応できており、ポストコロナにおけるバス運行においては現在の 10 人体制でも十分対応でき、現在の採用人数は適正であるものと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3 番（田中哲也君） まず、1 番、除雪ステーションについてであります。当初、説明会があったときに資料など回収されましたので、その後、決定したのであれば資料の提出など、あのままでいきますとか報告があれば非常に議員のほうも助かりますので、説明会終了だけじゃなくて、その後、どういうふうに決定して決まったのかという報告があればすごい助かると思います。1 については以上です。

2、町営スキー場とか体験交流センターに関しては、今までも長年の問題だと思えます。原状回復して返す、一番の問題点はリフトの支柱だと思われませんが、あそこは現状、今現在たまに僕も見に行ったりしますけれども、スキー場自体は大分立木といいますか木のほうは生えてきていると思いますが、町長の所信表明にもあったとおり、10年後、20年後の町のことを考えていけば、あそこのスキー場から眺海の森のウッドパークの敷地内、非常に問題点が多くなっていくと思います。いまだにゴルフの練習場はやっていきますけれども、もっともっとゴルフの人口が増えて活性化して、人数が増えて練習場も繁盛すればいいんですけれども、なかなかそういうこともならないと思いますけれども、10年後、20年後、先を見据えたときに、10年後までもまだ現状のままでいくのか、今後の課題として大いに取り上げてこれからどうしていけばいいのかと考えるのか、その辺の考えを町長にもう一度お聞きしたいんですけれども、お願いできますか。

○議長（本郷良克君） 町長。

○町長（中嶋久彰君） ウッドパークですけれども、再三、この質問に関してはあったことと思います。答弁も変わらずでありますけれども、原状回復をして返却するとなると、撤去費用、スキー場のリフト、それからセンター、建物、全て撤去するという事にな

りますと膨大な金額になることは、何度となくご説明申し上げました。それを負担して果たして10年返却で採算が取れるのか、それとも現状の借用賃、今、たしか100ぐらいだと思っていましたけれども、それがちょっと数値的に正しいかどうか分かりませんが、そのぐらいだと思います。それをじゃあ30年、40年でかけたときにどのぐらいの金額で、撤去費用と合わせたときにどっちが正解なのかということも踏まえた中でいろいろ考えた結果、現状、返したいという思いは強いです。

しかしながら、予算等を鑑みたときに、今、そこまで踏み切れていないのも現状でありますし、管理署等々の緩和措置ありませんので、しっかりとした原状で返してくださいという方向でありますので、なかなか厳しい状況であるということに変わりはないので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） なかなか難しい問題だと思います。スキー場に関しては18万円弱、眺海の森に関しては70万円弱のお金がかかっているはずですが。これをまたずっと払い続けていくのか、どのようにしたらいいのか行政と議員ともいろいろ話し合っ、ずっとあのままでいいということはないと思いますので、これは大きな問題点となっていくと思います。今後の町民の負担にもなっていくと思いますので、議員たちとも話し合い、行政とも話し合い、いい方向に進めていけるような状況をつくっていきたいと思いますので、行政のほうもよろしくお願いいたします。

3つ目の公共工事標識に関してです。今現在、大川平地区に圍場整備が入っています。各地区、いろいろな看板が出ています。その業者の方から指摘されました。今別町は、公共工事していても看板を立てなくてもいいのという指摘を受けました。その現場も僕は見てきています。看板は立っていませんでした。そういう見回りとかもしているんでしょうか、行政のほうで。よろしくお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） 見回り、定期的ではないですが、不定期になりますけれども、現場のほう確認はしております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 不定期で見回っているということなんですけれども、じゃあ看板が立っていないときは、そのような指導はしているんでしょうか。

○議長（本郷良克君） 平山課長。

○産業建設課長（平山寛哉君） すみません、私、答弁で答えているのは道路関係とか、私の課のほうでちょっとあれをする工事についてですが、圃場全体に関しては私も把握できないところはあるんですが、もし設置しない場合は速やかにするように指示しております。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 見ていて工事しているのが分かるので、その場で看板がなかったりすれば当然周りの通っている人たちも思うと思いますので、その辺は徹底して看板の設置をお願いしたいなと思います。

3つ目の公共工事については以上です。

4つ目の町営バス人事について、9名プラス1で管理者を入れて10名で適正であるということなんですけれども、適正であるならば、管理者の運転もたまに見られますが、それは必要ないんじゃないかと思うんですけれども、その辺はどうか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 管理者が運転するケースといたしまして、会計年度任用職員で、例えば、家族にご不幸とかあった場合は7日間忌引き休暇ということで、ちょっと運転のローテーションが変わりますので、そういったところでは管理者が運行することがございます。ほかの会計年度任用職員が走ってもいいんですけれども、そうすると長時間労働に引っかかるケース等も考えられますので、そういったところでは管理者が代わりに走れるときは管理者が走っている、運行しているところでございます。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 冠婚葬祭で急に亡くなられたり、そういう事例のときは管理者が走っているということなんですけれども、例えば、管理者が走って運転していて、そのときにも何か他のルートで事故などあった場合に管理者に連絡が入ると思うんですけれども、そういったことが難しくなると思われます。その中でそういうことが、事故が起きないとは思えないので、管理者が運転するというのはどうなのかなと僕は思うんですけれども、その辺で管理者を入れないで9名適正であるということなんですけれども、急にそういう冠婚葬祭が入って誰か1人が抜けたとかそういう場合でも対応できるような人数調整をして、安全・安心して町民が乗れるバスの運行をお願いしたいと思うのですが、いかがですか。

○議長（本郷良克君） 総務課長。

○総務企画課長（太田和泉君） 田中議員もご存じのとおり、管理者は今役場の本庁のほうに入っております。それは管理者以外でもやはり運行状況を把握しておかなければ、当然、私も管理しておかなければならないので、そういった意味では、仮に管理者が運行した場合でも、事故を起こした方や事故起こした運転手からは役場総務課のほうに連絡を入れていただければ、それでまた対応できると思います。

あと例えば、職員が欠けた場合、そういった場合の対応といたしましては、その都度、運行経験のある方とかにも打診しておりますので、ご理解のほどお願いいたします。

○議長（本郷良克君） 田中議員。

○3番（田中哲也君） 分かりました。町民が安心してバスに乗れるような運行状況をお願いしたいなと思います。また、運転手に関しても安全な運転を心がけるよう指導のほうもお願いしたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上で私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（本郷良克君） 3番田中議員の質問を終わります。

これをもって一般質問を終了いたします。

本日はこれをもって散会いたします。

午前11時11分 散会